



2024年10月31日

各 位

会 社 名：兵機海運株式会社
代 表 者 名：代表取締役社長 大東慶治
コード番号：9362（東証スタンダード）
問 合 せ 先：管理部 米山満寿夫
電 話：078-940-2351

大和工業グループとの資本提携及び業務提携の協議開始について

本日、当社と大和工業グループ（大和工業株式会社及び大和工業株式会社の連結子会社ヤマトスチール株式会社、以下、総称して「大和グループ」といいます。）は、当社及び大和グループの事業発展及び持続的な成長を目指し、資本提携及び業務提携の協議を開始することで合意いたしましたのでお知らせいたします。

1. 提携検討の理由

大和グループはすでに当社の発行済株式の一部（2024年9月末議決権保有比率0.84%）を保有し、協業関係にあります。今後の国内海上物流の動向や人材・設備の効率的活用に鑑み、当社を戦略的パートナーとして位置づけることといたしました。

当社は、将来にわたっての業容拡大を目指すうえで、大和グループとの資本関係と業務提携をさらに深めることが有効と考えました。

当社及び大和グループは、当社が有する海上輸送ネットワークの更なる活用を通じて、大和グループの物流の効率化、原材料調達の安定化及び出荷業務の強化ならびに兵機海運の業容拡大が可能と判断し、資本関係と業務提携の更なる強化に向けて検討を進めるものです。

2. 今後検討する提携内容

今後、以下の各分野における提携施策の協議により、顧客の多様なニーズに応える物流ネットワークの構築に努め、当社及び大和グループの持続的成長及びサプライチェーンの安定性を高めてまいります。

（1）海上輸送の強化

大和グループは、圧延ミル更新における生産性向上により、増産体制の強化が必要であり、当社のネットワークを更に有効活用することで、海上輸送比率を向上させ、

より効率的な出荷体制を構築します。

(2) 鉄スクラップ輸送の効率化

大和グループが主原料とする鉄スクラップの安定的な供給を確保できるよう、当社との協力体制を強化し、全国的な調達網の構築を目指します。

(3) 人材と設備の効率的活用

当社と大和グループとで培った知見・経験を活かし、物流業務における人材確保と設備効率の向上を目指します。

(4) 資本関係の強化

当社及び大和グループ間の協業体制を一層確固たるものとし業務提携を強力に推進すべく、資本提携の強化を検討してまいります。なお、大和グループによる当社の株式の具体的な取得株式数、取得方法、取得時期等については現時点においては未定です。

以 上

【会社概要】(2024年3月末時点)

名称	兵機海運株式会社	大和工業株式会社	ヤマトスチール株式会社
本 社 所 在 地	兵庫県神戸市中央区港島 3丁目6番地1	兵庫県姫路市大津区吉美 380番地	兵庫県姫路市大津区吉美 380番地
代 表 者	代表取締役社長 大東 慶治	代表取締役社長 小林 幹生	代表取締役社長 山内 靖彦
事 業 内 容	内航海運、港湾運送、倉 庫、外航海運	国内外の会社の株式もし くは持分を保有すること による、当該会社の事業 活動の管理	鉄鋼製品ならびに重工加 工品の製造・販売
資 本 金	612百万円	7,996百万円	450百万円
設 立 年 月	1942年12月	1944年11月	2003年10月
売 上 高	14,636百万円	163,479百万円	73,129百万円
総 資 産	12,939百万円	608,783百万円	75,848百万円
純 資 産	4,609百万円	554,941百万円	59,955百万円

(注)大和工業株式会社の財務情報は連結ベース